

# I C T を利活用した質の高い教育を実現するための全学的な計画 (2023～2025 年度)

本学における I C T (Information and Communication Technology) の利活用による教育の質向上を目的として、以下のとおり計画を定める。なお、本計画の進捗状況は教育研究審議会がチェックし、全学的な取組と指標の進捗状況を定期的に報告する。

## 1. I C T 環境の整備

本学は学生と教員がストレスなく教育研究活動に専念できるよう ICT 環境を整備するため、以下を実施する。

- ・無線 LAN の速度や接続状況を継続的に監視し、遅滞を解消する
- ・学生が PC を充電するための設備や場所を増設する
- ・FD 実施委員会と連携し、オンライン授業等に必要な機材をそろえる
- ・両学部・両研究科の教務システムを GAKUEN に統合し、個別最適化教育を実現する

## 2. 教職員を対象とした技術支援・教育支援体制の整備

情報教育研究センターは総務部情報企画課と連携し、薬学部及び生命科学部の教員に対して ICT を活用した教授法に対する技術面・教育面での支援を行い、以下を実施する。

- ・LMS (Learning Management System) の管理やカスタマイズ等の見直しを行う
- ・授業全般における ICT を利活用した効果的な教育手法に関するアドバイスを行う
- ・遠隔授業に必要な機材や設備を整備し、必要に応じて大学側へ提案する

## 3. セキュリティへの対応に係る大学等全体としての方針

情報教育研究センターと総務部情報企画課は協働の下、全学的な情報セキュリティを構築してネットワークを介したすべてのトラフィックを安全に管理する。

- ・情報セキュリティに関する教育及び研究を行う
- ・著作権や情報倫理に関する啓発活動を行う

## 4. 教育 DX による教育の質的転換

教育 DX による教育の質的転換をはかり、データに基づいた学修者本位の教育活動の実現を推進する。教育研究審議会は計画の妥当性、指標に基づいた進捗状況をチェックし、取組について審議する。また、教育改革推進事業費を設け、学内の革新的な取り組みに対して支援を行う。

## 5. 計画の公表と周知

本計画をホームページに公表するとともに、教員やステークホルダーに周知する。

2023年9月30日

学長 三卷祥浩